

## 事業所における自己評価総括表

公表	2024年 12月 20日		
○事業所名	てらびあぼけつと越谷大袋教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しく安心感をもって通所していただいている。	お子様の興味や強みを生かして支援をしています。お子様がプログラムや活動等に意欲的に楽しく取り組めるかを重要視しています。また、保護者様にも安心していただけるよう、日々の対話を大切にしています。	お子様一人一人をより丁寧に観察することにより、必要な支援は何かを明確化していき、全職員共通認識のもと支援を展開していきます。
2	粗大運動を安全に行える広い環境がある。	玩具や遊具の配置に配慮したり、使用方法とルールをの確認を行ったりし、広い空間でのびのびと思いつき身体を動かせるようにしています。身体を動かすことに苦手意識のあるお子様でも職員の援助のもと楽しそうに運動をしています。	玩具や遊具の整備を定期的に行い、安全に身体を動かすことができるようにします。広い空間とはいえ衝突等の恐れはあるため、お子様の動きを予測したり職員の配置を臨機応変に行ったりしていきます。
3	対話やセラピーノートを通して保護者様とお子様の状況を共有している。	保護者様との日々の情報共有からニーズやお子様の興味関心、お子様の様子を理解し、日々の支援を展開しています。保護者様が職員に話しかけやすいよう雰囲気作りも大切にしています。就学前のお子様がいる保護者様からの声を受け取り、就学前プログラムを行っています。	職員からの一方通行な会話ではなく、保護者様の思いをお聞きする双方向の会話を大切に、お子様の成長をともに喜び合えるようにしていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等実施している取り組みを伝えきれていない。	避難訓練や遊び・活動の様子をブログやSNSでお伝えしているため、SNSを利用していないご家庭には情報が届きにくくなってしまっていると考えています。	セラピーノートや口頭でも取り組み内容を共有し、SNS等の媒体を利用していないご家庭にも情報が伝わるようにしていきます。
2	事業所外でのお子様同士の交流が少ない。	他事業所も参加する作品展等に参加しています。事業所内では小集団の活動の中でお子様同士の関わりの機会を増やし、経験値を高められるようにしています。	ニーズやお子様の姿に応じて交流の機会を設けていけるよう検討していきます。
3	保護者会や保護者様同士の交流の機会が少ない。	個別での支援で職員との対話を行っていたり、1日を通してお子様をお預かりしているため、保護者会等の時間を設けることが難しいです。一方で同じ時間を利用する保護者様同士で会話をしている様子も見受けられています。	こちらもニーズを確認して保護者会の開催や交流の機会を設けていけるよう検討していきます。